

授業計画書 (シラバス)

教科名	フレームワーク I	曜日 時間	金曜日 9:10~17:00	担当者名	小曾川 瑠那
-----	-----------	----------	-------------------	------	--------

	前期指導案		後期指導案	
	(年間 2回 4授 業日)	4月	17 24	10月
	5月	1 8 15 22 29	11月	6 13 20 27
	6月	19 26	12月	4 11
	7月	3 10	1月	15 22
	9月	4	2月	
方授 法業	(講義 ・ (実技))		(講義 ・ (実技))	
授業 内容	<p>とけたガラスを扱う点において、フレームワークはホットワークと同技法であると考えられる。しかしながら、用いるガラスと設備が異なるため、素材と技法の違いを体感しながら、フレームワークの魅力を発見する授業を行う。</p> <p>具体的には、一年を通して各サイズのバーナーとボロシリケートガラスへの理解、基礎的な技術を身につける。課題を通してアイデアの創出を図る。</p> <p>授業では毎回デモンストレーションとアイデアスケッチを行い、適宜参考資料を用いることで、アイデアと思考を深めていく。作品の完成度より、実験的な試みへの態度・発見・展開を重視する。</p> <p>前期はケーンワークと管ガラスブローを学ぶ。</p>		<p>前期で学んだ素材や技法をベースに、後期は色の使い方（酸化炎、還元炎による色の変化）を習得する。</p> <p>他技法の併用についても学ぶことで、アイデアと表現の幅を広げると同時に、素材に対する理解度と探究心を深める。</p> <p>各自のテストピースをクラス内で共有し、互いの技術とアイデアを発展させる。</p> <p>2年次に備え、作品の完成度と展示方法に対する意識を促しておく。</p>	
到達 目標	<p>素材の特性と事故防止のための知識を習得することが目標である。</p>		<p>アイデアを立体物におこす力、自主的に学ぶ力、伝える力を身につけることが目標である。</p>	
成績 基準 評価	<p>積極性／技法、機材、課題への関心度と理解度／提出期限の厳守／出席状況</p>		<p>積極性／技法、課題への関心度と理解度／個人の成長度／提出期限の厳守／出席状況</p>	
留意 事項	<p>酸素バーナー専用のサングラスが必要。各自購入必須。</p>			